

令和4年度 地方独立行政法人奈良県立病院機構
医療事故、ヒヤリ・ハット分類別3病院合計発生件数(転倒・転落を除く)

事故の分類	3病院合計(件)	構成比(%)
薬剤	1,523	32.5%
輸血	124	2.6%
治療・処置	273	5.8%
医療機器	317	6.8%
ドレーン、チューブ	545	11.6%
検査	771	16.5%
療養上の世話(転倒・転落以外)	348	7.4%
その他	785	16.8%
合計	4,686	100.0%

医療事故、ヒヤリ・ハットレベル別3病院合計発生件数(転倒・転落を除く)

レベル分類	3病院合計(件)	構成比(%)
0	1,048	22.4%
1	1,846	39.4%
2	1,071	22.8%
3a	604	12.9%
3b	83	1.8%
4	2	0.0%
5	32	0.7%
合計	4,686	100.0%

(参考)医療事故等の分類(転倒・転落を除く)

レベル	傷害の継続性	傷害の程度	傷害の内容と基準
0	-	-	エラー・不具合に気づき、患者には実施されなかった
1	なし	-	エラー・不具合に気づかず実施したが、患者への実害はなかった
2	一過性	軽度	行った医療または管理により、患者に影響を与えたが、処置や治療を要しなかった
3a	一過性	中等度	行った医療または管理により、本来必要でなかった簡単な処置や治療(消毒、湿布、鎮痛剤投与等の軽微なもの)を要した
3b	一過性	高度	行った医療または管理により、本来必要でなかった濃厚な処置や治療を要した
4	永続的	軽度 ～ 高度	行った医療または管理により、永続的障害が残った 障害が軽度から中等度の場合は4a 障害が中等度から高度の場合は4b
5	死亡	-	行った医療または管理により、死亡

令和4年度 地方独立行政法人奈良県立病院機構
医療事故等(転倒・転落)レベル別3病院合計発生件数

レベル分類	3病院合計(件)	構成比(%)	R3年度(件)	R4-R3(件)
A	510	72.7%	528	▲18
B	147	21.0%	110	37
C	18	2.6%	9	9
D	25	3.6%	11	14
E	1	0.1%	0	1
F	0	0.0%	0	0
合計	701	100.0%	658	43

(参考)転倒・転落の分類

レベル	傷害の程度	傷害の内容と基準
A	なし	患者に損傷はなかった
B	軽度	包帯、冷湿布、創傷洗浄、四肢の挙上、局所薬が必要となった、あざ・擦り傷を招いた
C	中軽度	皮膚接合テープ・皮膚接着剤、縫合、副子が必要となった、または筋肉・関節の傷害を招いた
D	重度	骨折をきたして、ギプス、牽引、手術が必要となった、または神経損傷・身体内部の損傷のため治療が必要となった
E	死亡	転倒による損傷の結果、患者が死亡した
F	不明	記録からは判定不可能